



平成 28 年 1 月 1 日発行

介護老人福祉施設・短期入所生活介護
通所介護・訪問介護・訪問入浴介護
居宅介護支援・在宅介護支援センター

〒871-0821 築上郡吉富町大字幸子 803 番地の 1
tel 0979-23-6111

鳳 寿 園 だ よ り

施設長 新年の挨拶（平成二十八年）

明けましておめでとうございます。

旧年中はご利用者、ご家族をはじめ、地域住民の皆様、行政関係者の方々より温かいご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。今年も大過なく新年を迎えることができましたことを厚く御礼申し上げます。また、デイサービスに続き、特別養護老人ホームは今年で開設二十年を迎えます。皆様方のお力添えに心より感謝いたします。



さて、昨年九月、安倍首相はアベノミクスの第二ステージとして「新三本の矢」を発表し、“一億総活躍社会”を目指すと言いました。とりわけ、経済成長の妨げとなる少子高齢化による人材不足を解消するため、保育の受け皿や特養等を整備し、女性の社会進出を推進するとともに、介護離職を防止するとしています。これを受け、一億総活躍国民会議は二〇一七年度末までに50万人分の保育サービス、二〇二〇年初頭までに同じく50万人分の介護サービスを整備するりましたが、当初の目標値（保育サービス40万人分、介護サービス38万人分）においてもそれぞれ6.9万人、20万人の保育・介護人材が不足すると言われており、更なる人材不足が懸念されています。

一昨年、厚労省は、全国の特養入所待機者数を52万人超と発表しましたが、都市部と地方の実情は大きく異なります。確かに高齢化率は全国的に上昇傾向にありますが、高齢者数が激増する都市部に対し、地方は人口自体が減少傾向にあるため、高齢化率ほど高齢者数が急増するわけではありません。また、地方は比較的、土地の確保が容易であることから、近年、特養をはじめ、住宅型有料老人ホームやグループホーム等の住まいが乱立し、定員割れが生じている事業所もございます。また、ニーズはあっても職員が確保できず、受け入れられないといった問題も見受けられます。

そもそも平成十二年に施行された介護保険制度は、介護の社会化と民間参入によるサービスの質の向上を目的としています。競争原理に基づくサービスの質の向上は歓迎されるものの、介護業界の人材不足は極めて深刻な状況であり、単にサービスの質の低下のみならず教育体制の不備等による虐待の問題なども浮上しています。また、中には超高齢社会をビジネスの好機として捉え、政府が示した数値を追い風に箱モノを積極的に整備し、目先の利益だけで利用者や職員を確保しようとする残念な事業者もあるようです。そのためか、介護の職を転々とするその場しのぎの労働者も増え、悪循環を招いています。

思えば仕事納めもなく、盆正月も普段と変わらず介護に勤しむ職員とともに二十回目の新年を迎えましたが、福祉職員の社会的評価は向上していません。勿論、今では二十四時間営業の小売店も珍しくなく、そこそ在宅介護に励んでおられる介護者の方々のご苦労は想像以上かとお察しいたしますが、介護は人の生活に欠かせない重要な仕事であり、日本経済をも支えていることは明白な事実であります。箱モノ優先ではなく、介護に対する適切な評価、福祉職員の身分保障こそ急務の政治課題として取り組んでいただくことを切望いたします。

社会保障財源が切迫する中、今後も給付の抑制が求められており、地域格差、個人格差は益々、広がることでしょう。私どもにとっても厳しい状況が続きますが、引き続きご利用者、ご家族一人お一人に分け隔てなく接し、不器用ながらも信頼関係の構築に努めて参る所存でございます。

つきましては、本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



特別養護老人ホーム吉富鳳寿園

施設長 三笠直樹



地域の祭り

吉富町は祭りの多い町で9月、10月と神輿行列が出、吉富鳳寿園にも毎年来て頂きます。利用者は秋の一日を大変たのしみにしています。秋空の下勇壮な神輿を担ぐ地域の人々の姿に自分の身体にも力が漲るようです。10月には翌日の神楽の前夜祭として玄関に提灯の神輿が運び込まれこの祭りが終われば愈々秋の収穫が始まると季節の移ろいを施設に居ながら感じる事が出来るのです。しかし本命はやはり翌日の奉納神楽、御崎神楽でしょうか？広い園庭を鬼が暴れ周り最後は神に退治され心を入れ替える様を舞で表現します。古に想いを馳せ感謝の思いを共にする利用者の姿がみられます。秋の実りに感謝し新たなる年に向かって頑張りましょう。



小島社中の踊り

毎月利用者が楽しみにしている小島社中の踊り、食い入るように見つめる皆さんの顔が輝いています。中には昔日本舞踊を嗜んでいた利用者もいるらしく思わず手踊りをする人もありました。



コスモス

11月3日より開催された中津市三光のコスモス園に出かけました。一面に広がるコスモス、ピンクや白或いはえんじ色と様々な色の絨毯が敷き詰められたようです。思わずピースのサインをしてしまいました。



吉富レディース来園

11月末の金曜日午前中の一時を吉富レディースの皆さんが日々練習している踊りや歌を利用者に披露してくださいました。しなやかに踊るフラダンス、美しいコーラス、最後は一緒に炭坑節を踊り利用者も楽しく過ごしました。



吉富小学校交流会

11月11日午後吉富小学校4年生との交流会がありました。子供達に教わりながら立体的な花を折って大事そうに部屋に持ち帰る利用者もありました。トランプ遊びでは、ババ抜きゲームでババを抜いてしまった子供の大きな歓声が響いていました。毛糸を綾取り遊びでお婆ちゃんの次から次へと作り出す色々な形に子供達は目を丸くし驚きの声をあげていました。ジュースの空きペットボトルを使った手作りボーリングには利用者も一本でも多く倒そうと力が入り車椅子から思わず立ち上がる姿も見られ職員を慌てさせました。一緒に遊んだ後は子供達が学校で練習した音楽の演奏に耳を傾けていました。楽しい一時をありがとう！

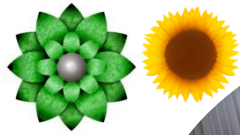


口腔ケア

吉富鳳寿園の利用者達の歯のトラブルを診て頂いているまるやま歯科医院の先生に来ていただき、自分で磨く歯磨きの仕方、自分で磨けない人の口腔ケアの仕方、誤嚥による肺炎をどのように防ぐか等指導を頂きました。又口をあげない方の口腔ケアのテクニックなどスライドを見ながら教えて頂き、利用者は勿論、職員も大変勉強になりました。



地域ふれあい文化祭



10月18日吉富鳳寿園の文化祭を開催しました。
わかば乳児保育所の園児の作品、利用者の作品も壁面を飾り来園者もその見事な出来映えに驚きの声を上げていました。演芸ではご覧のように可愛らしい子供の踊り、地域を担う壮年の方々の歳を感じさせないダンス、大いに盛り上がった神楽と会場を盛り上げてくれました。中庭では焼きそばなどの屋台で舌鼓をうつ来園者の姿が見られました。大勢の地域の方々に見えていただき、ありがとうございました。

